漫画版

あらしのよるに

原作　きむらゆういち　漫画　空十雲



マガジンZKC

読者のみなさんへ

実はボクはずっとマンガ少年でした。マンガ家になろうと思って出版社に原稿を持ち込んだ事もあります。だから今回ボクの「あらしのよるに」がコミック版になると聞いてとてもうれしく、特別な思いで出来上がりを待ちました。そしてラフが上がった時「けっこうコミックでもイケるじゃない！」そんな思いで一読者になって楽しめました。みなさんもぜひお楽しみください！

きむらゆういち

この作品の執筆中は、今までの人生でいちばん人の"情"というものにふれることができた貴重な時間でした。大勢の方々に支えられながらものをつくる、それは「あらしのよるに」を描きながら、「あらしのよるに」さながらの友情、信頼、愛を感じることができた時間なのです。漫画を読んでくれたみなさんに、作品を通じて少しでもその温かさが伝われば幸いです。

空十雲





漫画版

あらしのよるに

原作　きむらゆういち

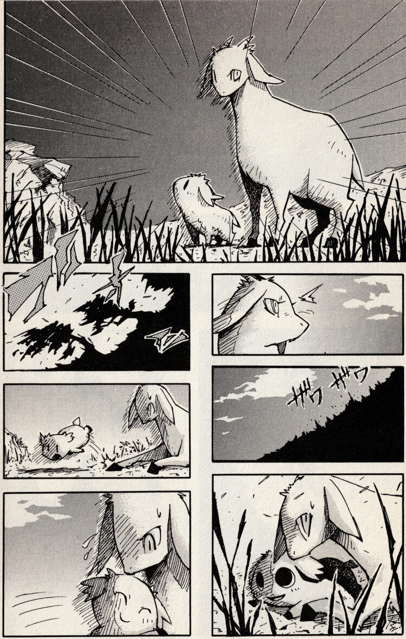
漫画　空十雲（そらとくも）

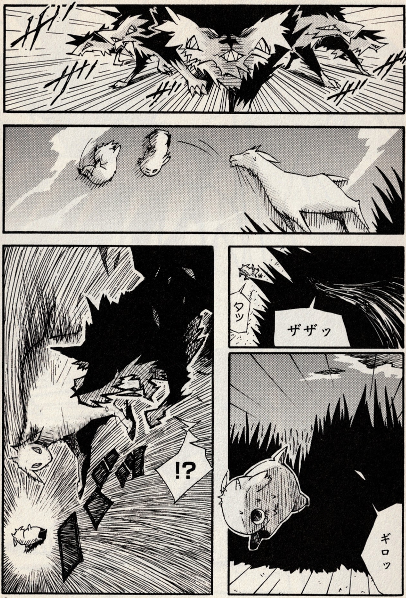
目次

第1話 あらしのよるに……3
第2話 あるはれたひに……26
第3話 くものきれまに……44
第4話 きりのなかで……59
第5話 どしゃぶりのひに……76
第6話 ふぶきのあした（1）……120
第7話 ふぶきのあした（2）……141
最終話 まんげつのよるに……169




ジャッ
ヒクーッ


ザワ ザワ


ザッ
ザザッ
ザザッ
ザザッ
タッ
ザザッ
!?
ギロッ





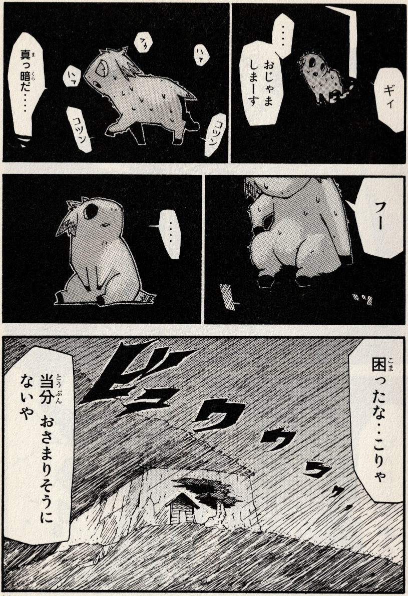

第1話（だいわ）
あらしのよるに

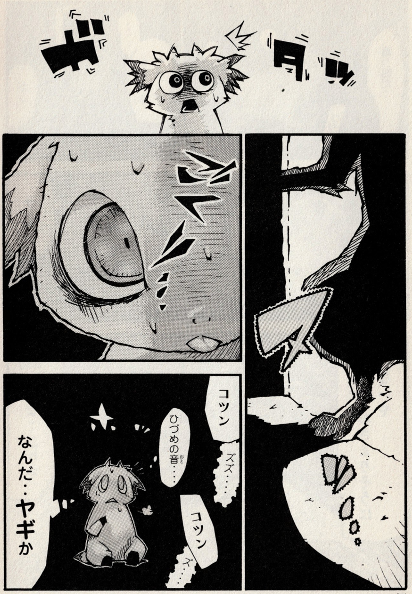

おーい メイ
早くしろー
先に帰っちゃう
ぞー


ちょ・ちょっと待ってよ〜〜
メイ早く！風が強くなってきたよ
はぁ
はぁ
ひえっ こりゃひと雨くるぞ！
ゴロゴロ..
オレたち先に帰ってるぞ!!
ま・待って——！


ま・・・!
ポッ
わ


みんなどこ!?
うう・・・冷たい!
どこか雨宿りできるところは・・・・
!!


ギィ
・・・おじゃまします
ハァ
ハァ
ハァ
コツン
コツン
真っ暗だ・・・・
フー
・・・・
困ったな・・こりゃ
ビュウウウウ
当分 おさまりそうにないや


コツン
ズズ・・・
ひづめの音・・・
コツン
ズ・・・
なんだ‥ヤギか


あ あの・・・・
すごい嵐ですね
えっ!?
おや 誰かいやしたか
ハァハァ
真っ暗で
ハァ
ちっとも気がつきやせんで
私も ついさっき飛び込んできたところですよ
すっかりズブ濡れです
コン
まったくおかげで足はくじくし
もう散々っすよ

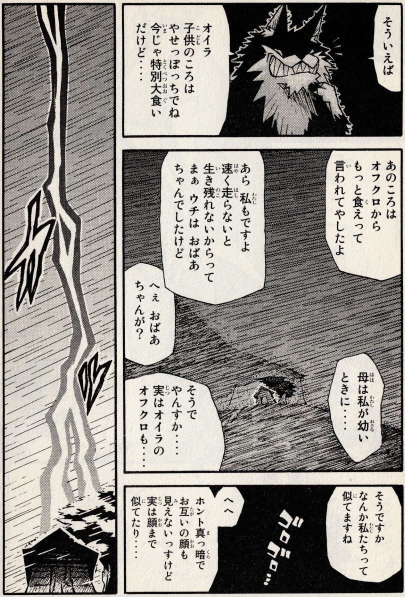


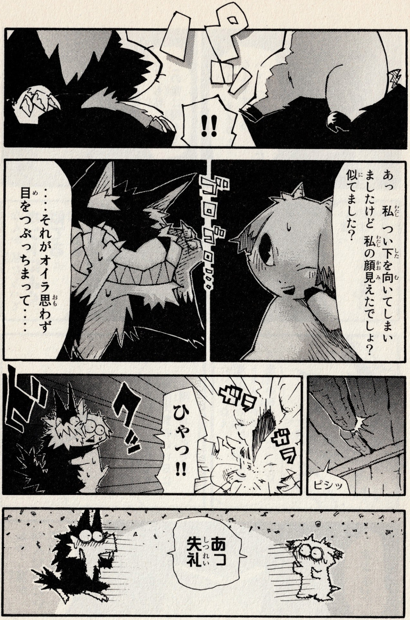
あなたが来てくれてホッとしました
スゥ
そうっすよねぇ
嵐で暗くてひとりぼっちじゃ心細くなっちまいやすよ　はは・・・・
大丈夫ですか？
鼻風邪っす・・
私もですよ　おかげでぜんぜん匂いが・・・・クシュッ
エヘヘ・・・・今わかるのはお互いの声だけでやんすね
あ　どちらにお住まいですか？

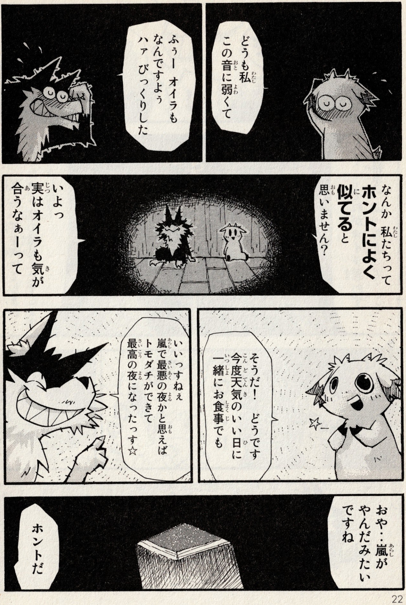

へぇ
バクバク谷のほうでやんす
バクバク
バクバク谷!? あ あっちのほうは危なくないですか!?
へぇ そうでやんすか? ま ちょっと険しいけどいいところでやんすよ
ふーん 度胸があるんですね 私はサワサワ山のほうですよ
フカフカ
おーっ そいつは羨ましい!
私はフカフカ谷のエサのほうが好きですけど


そうそう オイラも
よく行きやすよ
あそこのエサは特別
うまいんすよね
ええ 匂いもいいし
柔らかいのに歯ごたえも
いいっすから
ゴロゴロ・・・
毎日食べても飽きない
くらいですよね
ゴロゴロ・・・
ホント 一度食ったら
病みつきになっちゃいやす
はぁ〜〜
なんだか
お腹すいて
きた
ぐぅ〜〜
オイラもで
やんすよ
ああ・・・
あのエサが
今ここに
あったら
なぁ〜〜
あの美味しい・・・・

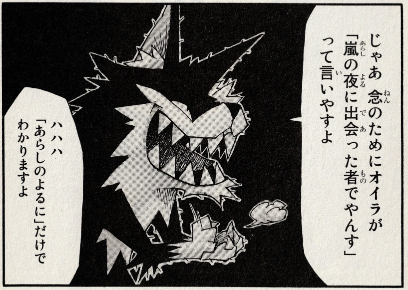

草
肉
ひえ……
ゴロゴロ…


そういえば
オイラ子供のころはやせっぽっちでね今じゃ特別大食いだけど・・・
あのころはオフクロからもっと食えって言われてやしたよ
あら 私もですよ 速く走らないと生き残れないからって まぁ ウチは おばあちゃんでしたけど
へぇ おばあちゃんが?
母は私が幼いときに・・・
そうでやんすか・・・実はオイラのオフクロも・・・
そうですか なんか私たちって似てますね
ゴロゴロ…
へへ
ホント真っ暗でお互いの顔も見えないっすけど実は顔まで似てたり・・・


パッ
!!
あっ 私つい下を向いてしまいましたけど 私の顔見えたでしょ?似てました?
ゴロゴロ…
…それがオイラ思わず目をつぶっちまって…
ピシッ
ガラ
ガラ
ひゃっ!!
ク
あっ失礼


どうも私
この音に弱くて
ふぅー オイラも
なんですよぅ
ハァ びっくりした
なんか 私たちって
ホントによく
似てると
思いません?
いよっ
実はオイラも気が
合うなぁーって
そうだ! どうです
今度天気のいい日に
一緒にお食事でも
いいっすねぇ
嵐で最悪の夜かと思えば
トモダチができて
最高の夜になったっす☆
おや・嵐が
やんだみたい
ですね
ホントだ


それじゃ とりあえず明日の
お昼なんてどうです?
いいっすよ
嵐の後は特に天気が
いいっていいやす
からね
この小屋の前で
落ち合いやしょう
決まり!
でもお互いの顔が
わかりませんよ


じゃあ 念のためにオイラが
「嵐の夜に出会った者でやんす」
って言いやすよ
ハハハ
「あらしのよるに」だけで
わかりますよ

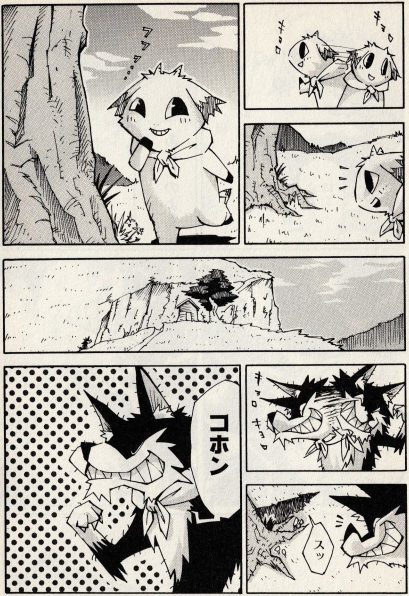

じゃあ オイラたちの合い言葉は「あらしのよるに」ってことっすね！

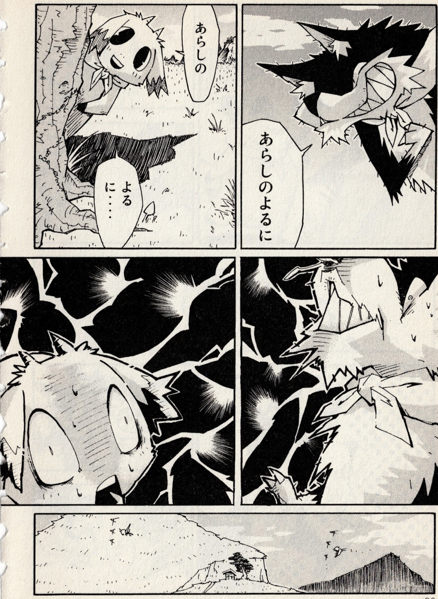


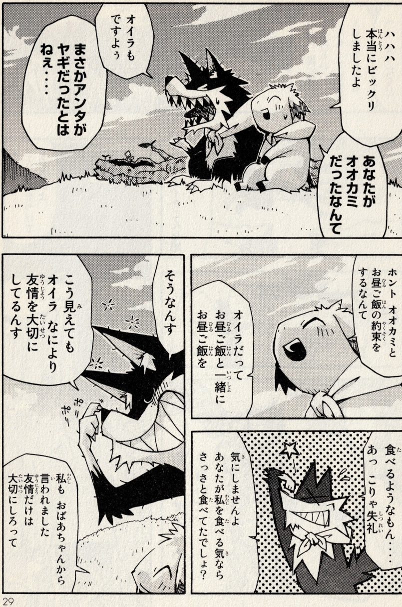
あくる日
この丘の下で
何が起こるのか?

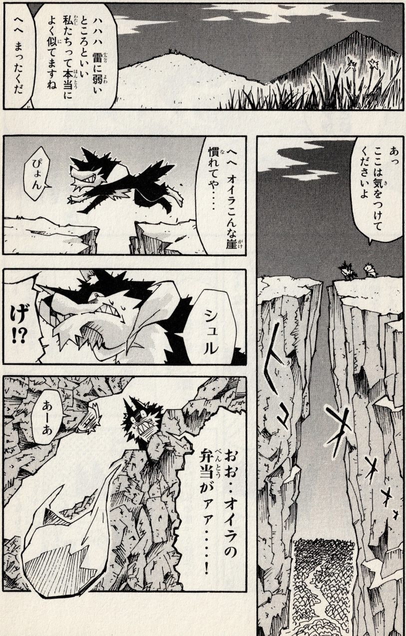
このとき
二匹はただただ
胸を躍らせる
ばかりだった

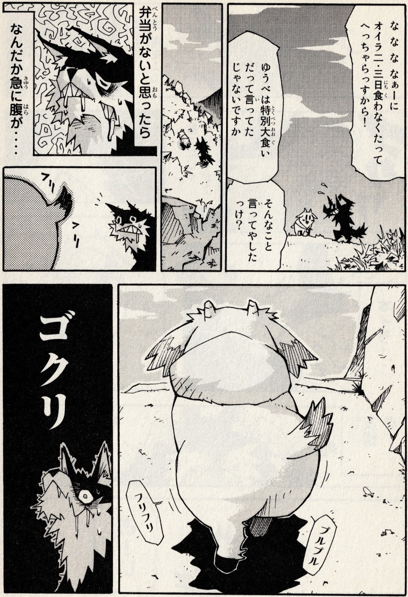

第2話
あるはれたひに
♪
♪

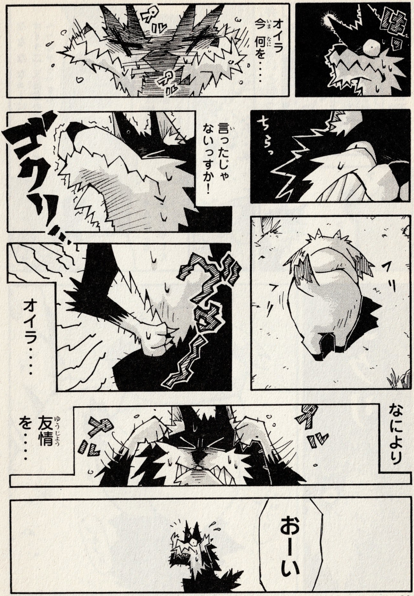

キョロ
キョロ
フフフ…
キョロ
キョロ
スッ
コホン


あらしのよるに
あらしの
よるに・・・・


ハハハ 本当にビックリしましたよ
あなたがオオカミだったなんて
オイラもですよぅ
まさかアンタがヤギだったとはねえ・・・・
ホント オオカミとお昼ご飯の約束をするなんて
オイラだってお昼ご飯と一緒にお昼ご飯を
そうなんす
こう見えてもオイラ なによりも友情を大切にしてるんす
食べるようなもん・・・・ あっ こりゃ失礼
気にしませんよ あなたが私を食べる気ならさっさと食べてたでしょ?
私も おばあちゃんから言われました 友情だけは大切にしろって


ハハハ 雷に弱いところといい私たちって本当によく似てますね
へへ まったくだ
あっ ここは気をつけてくださいよ
へへ オイラこんな崖慣れてや‥‥
ぴょん
シュル
げ!?
おお‥オイラの弁当がァア‥‥‥!
あーあ


ななな なぁーに
オイラ二・三日食わなくたって
へっちゃらっすから！
ゆうべは特別大食い
だって言ってた
じゃないですか
そんなこと
言ってやした
っけ？
弁当がないと思ったら
なんだか急に腹が・・・・
フリ
フリ
プルプル
フリフリ
ゴクリ

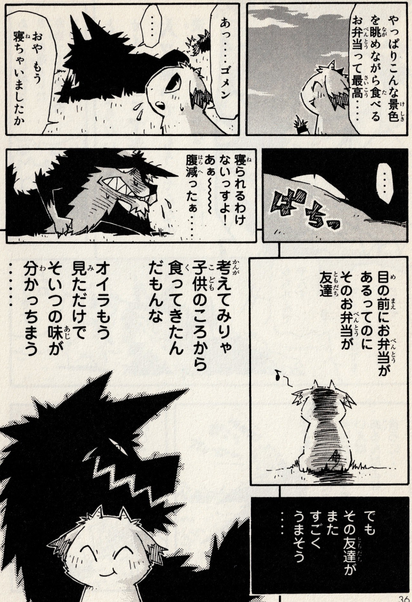

オイラ
今何を‥‥
ちらっ
言ったじゃないっすか！
ゴクリ‥‥
フリ
フリ
オイラ‥‥
なにより
友情を‥‥
おーい

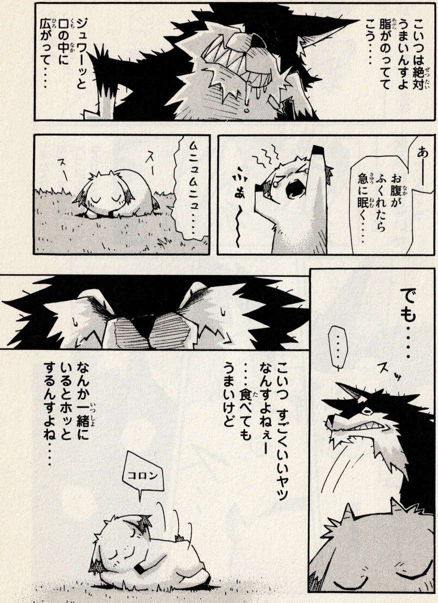

どうしましたー?
いいや……
ななんでもないっす
ハハハ……
ウフフ 変なの それより
ほら てっぺんですよ
フー やっと
着きやしたか
ほら あそこが
フカフカ谷ですよ
ホントだ


オイラ よくあそこに エサを……
え？ エサ??
い いや
オイラ あんなとこに エサなんて 食べに行きやせんし……
ヤ…ヤギの肉なんて 一度もた…食べたこと ないっすよ ハハハ……
そうですよね ……じゃあ お弁当に……
私の干し草 半分食べます？ やっぱり 肉じゃなきゃ ダメですよね？
いや
あっ 落としちゃったんですよね
そうなんす……
その……
フリ
フリ

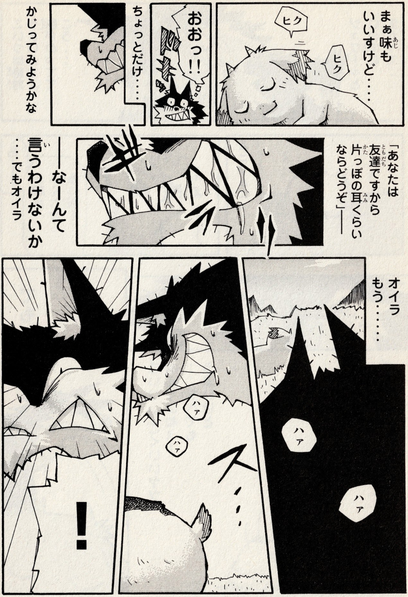


あっ もしかして
さっき落とした
弁当ってヤギの肉
だったりして
ははは
とっ とんでもないっすよ!
オイラ本当にヤギの肉は
大ッ嫌いで‥もう そんなの
決まってるじゃないすかぁ!!
そうです
よね
もちろんで
やんす
さ
ちょっと昼寝でも
しやすから
オイラにかまわず
どうぞ
そうですかぁ?
それじゃあ
パッ
‥‥オイラだって
弁当があるって
いえば
あるんだよね
後ろに‥‥

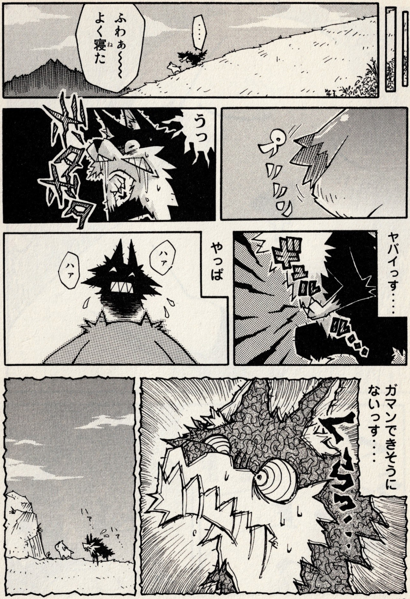

やっぱりこんな景色を眺めながら食べるお弁当って最高・・・・
あっ・・・・ゴメン
・・・・
おや もう寝ちゃいましたか
・・・・
ぱちっ
寝られるわけないっすよ! あぁ~~~~ 腹減ったぁ・・・・
目の前にお弁当があるってのに そのお弁当が友達
考えてみりゃ子供のころから食ってきたんだもんな
オイラもう見ただけでそいつの味が分かっちまう・・・・・
でも その友達が また すごく うまそう・・・

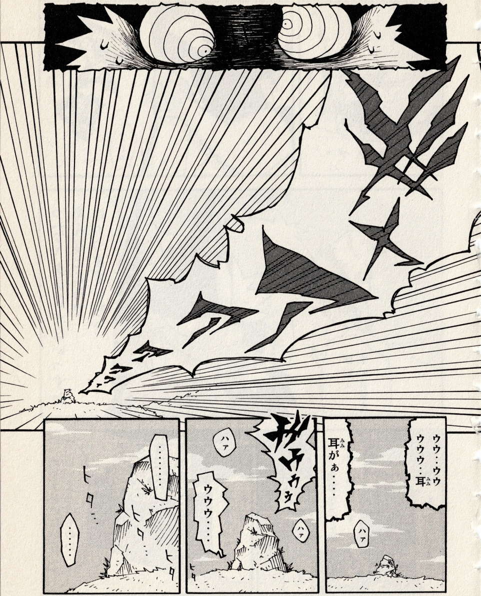


こいつは絶対うまいんすよ
脂がのっててこう・・・
ジュワーッと
口の中に
広がって・・・
あーー
お腹がふくれたら
急に眠く・・・
ふぁ〜〜
ムニュムニュ・・・
スー
スー
でも・・・
・・・
スッ
こいつ すごくいいヤツなんすよねぇー
・・・食べてもうまいけど
なんか一緒にいるとホッとするんすよね・・・
コロン


まぁ味も
いいすけど……
ヒク
ヒク
おおっ!!
ちょっとだけ……
かじってみようかな
「あなたは友達ですから片っぽの耳くらいならどうぞ」——
——なーんて言うわけないか
……でもオイラ
オイラもう……
ハア
ハア
ハア
ハア
!


やっぱ友達は
食っちゃ
ダメっすよね
・・・
ぐう


……
ふわぁ〜〜〜
よく寝(ね)た
うっ
ヤバイっす……
やっぱ
ハア
ハア
ガマンできそうにないっす……

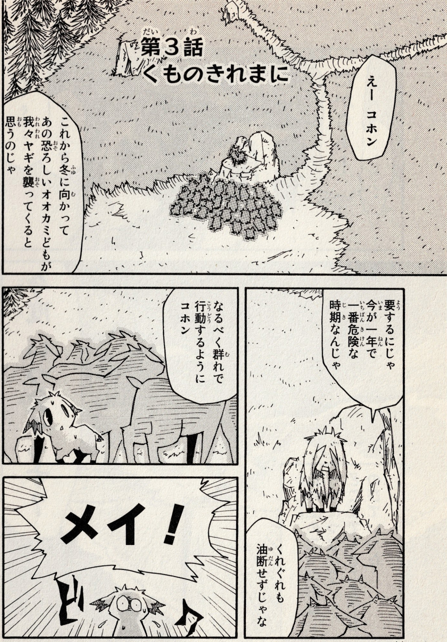

ウウ‥ウウ
ウウウ‥耳
耳があ‥‥
ハァ
ハァ
ウウウ‥‥
ハァ
‥‥‥‥
‥‥‥



フーッ
ズッ
フーッ
ヌヌヌヌッ…
耳いたい…
ったく ダメじゃないっすか
あんなところで
けっつまずいちゃ
はい……
すいません
オイラがいたから
いいようなものの
そうっす
オイラは
なにより
友情を……
私 そそっかしい
んです……
あ
一っ 大事なことを
忘れていたっす
え なんですか？

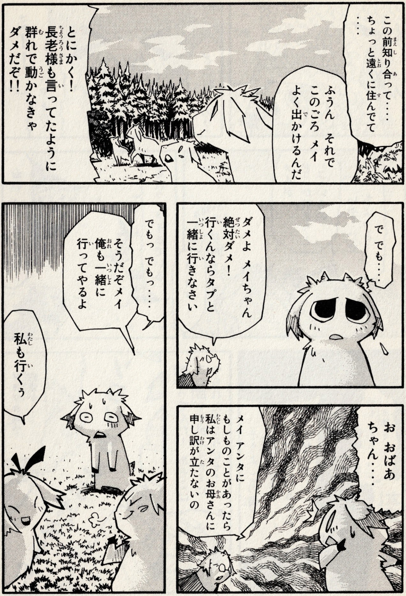


だから その‥‥
なんですか?
だからぁ!
‥‥‥‥
今度 いつ会うっす?
丘の上の二つの影は 一つにつながり どこまでもどこまでも のびていった

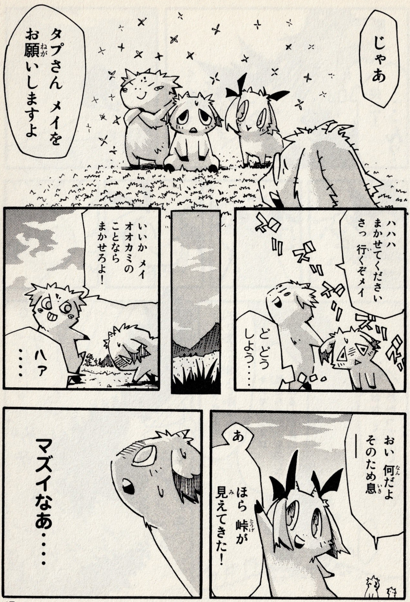

第3話
くものきれまに
えー コホン
これから冬に向かって あの恐ろしいオオカミどもが 我々ヤギを襲ってくると 思うのじゃ
要するにじゃ 今が一年で 一番危険な 時期なんじゃ
なるべく群れで 行動するように コホン
くれぐれも 油断せずじゃな
メイ！

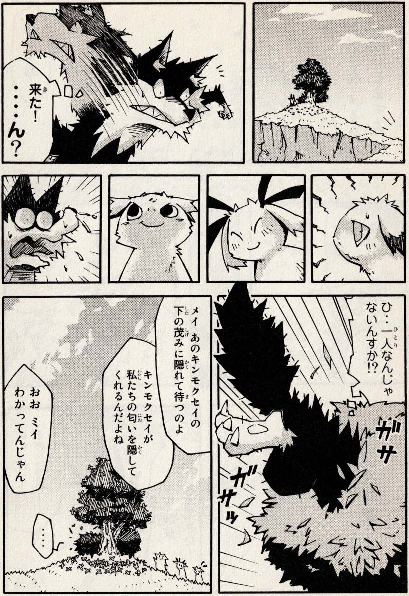


ミイ！
いや その…
どこ行くの？
べ 別に……
おい ミイどうした
あれ？ メイまでいる
タ タプ……
メイが どこか行こうと しているの
いや…ただ ちょっと……
今日の話はここまでじゃ
ソヨソヨ峠で 約束が……
ソヨソヨとおげぇ〜!?
何言ってんだ！ あそこは この前ヤギがオオカミに やられたところだぞ！
そうよ この頃じゃ 「昼飯峠」とも 呼ばれているのよ 危ないよ！
でも そのちょっと 友達と……
友達って誰？

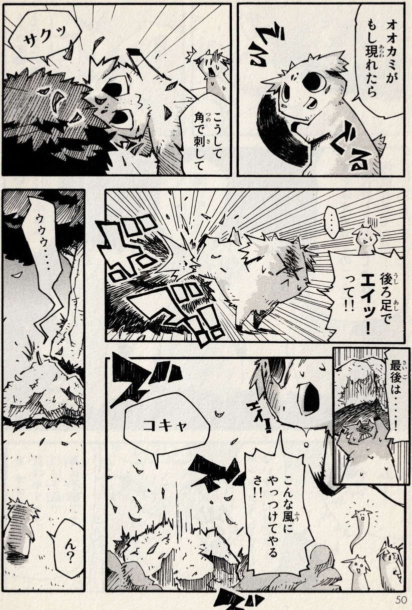


この前知り合って‥‥
ちょっと遠くに住んでて‥‥
ふうん それで このごろ メイ よく出かけるんだ
とにかく! 長老様も言ってたように 群れで動かなきゃダメだぞ!!
で でも‥‥
ダメよ メイちゃん 絶対ダメ! 行くんならタプと一緒に行きなさい
でもっ でもっ‥‥
そうだぞメイ 俺も一緒に行ってやるよ
私も行くぅ
お おばあちゃん‥‥
メイ アンタに もしものことがあったら 私はアンタのお母さんに 申し訳が立たないの


じゃあ
タプさん メイをお願いしますよ
ハハハ まかせてください さっ 行くぞメイ
どうしよう・・・
いいか メイ オオカミのことならまかせろよ！
ハァ・・・
おい 何だよ そのため息
あ
ほら 峠が見えてきた！
マズイなあ・・・


来た！
・・・・ん？
ひ…一人なんじゃないんすか!?
ガサ
ガサッ
メイ あのキンモクセイの下の茂みに隠れて待つのよ
キンモクセイが私たちの匂いを隠してくれるんだよね
おお ミイ わかってんじゃん
・・・・


メイの友達まだみたいね
う…うん
!
おい メイ 聞いてんのか
え…ああ 聞いてるよ
オレはオオカミのことにただ詳しいだけじゃない何度も見てんだ!
ま オオカミなんてさ 目はギラギラ 口は下品で 鼻は不細工で
ホント どうしようもないヤツだけどさ!
ム!

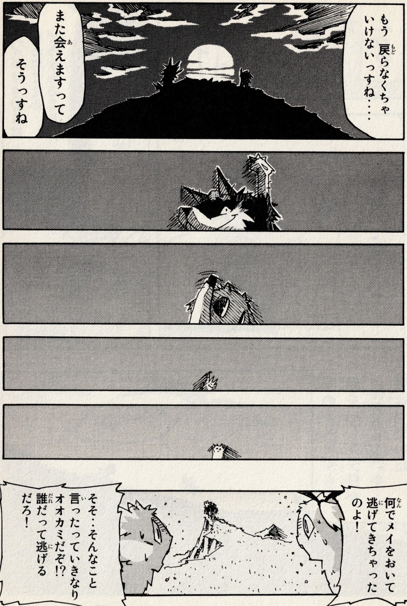

オオカミがもし現れたら
こうして角で刺して
サクッ
……
後ろ足でエイッ!って!!
ウウウ……
最後は……!
エイ!
コキャ
こんな風にやっつけてやるさ!!
ん?


ガウオウウ
ウウウー!!
ひっ
ひえ~~~~!!
キャアア
アアア!!
い
で出たぁ——!!
ピュー
た助けて——!!

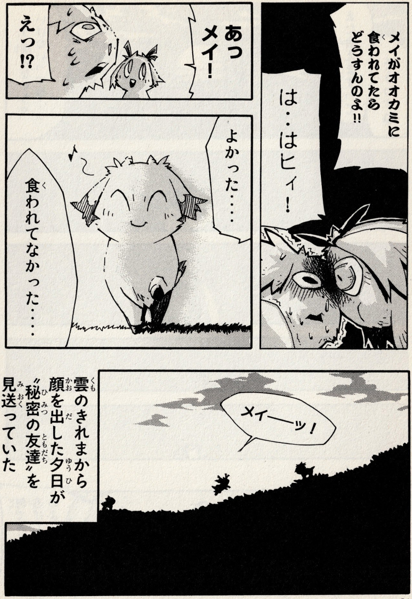

おー痛てぇ いきなり お腹を蹴とばされちゃったでやんすよ
ハハハ ゴメンゴメン
今のは私の友達なんです
そうでやんすか すごくおいしそうな いや 気のよさそうな お友達で
あ 私の名前 メイっていうんですよ
へぇ メイでやんすか そりゃあ 優しそうな名前だ オイラガブっていいやす
でも なんだか脅かしちゃったみたいで‥‥
まぁ 二人きりになれたから いいじゃないですか 〝メイが心配だから〟って ついてきちゃって
強そうな名前ですね でも なんか変ですよね 今ごろ お互いの名前を 言い合うなんて
ホントっすね


ところで ずいぶん待たせちゃいました?
いやいや オイラもさっき来たとこっす
とにかく仲間がうるさくて 今からオオカミと会うなんて知られたら・・・・
デヘヘ オイラも同じでやんす ヤギと友達だなんて仲間には絶対言えないっすよ
私達だけの
秘密
ですね
!
そ そんな言い方されるとオイラ ドキドキしちゃいやすよ!
でも 本当にいいんでやんすか?
ヤギから見たらオイラ 目がギラギラしてて
口が下品で
鼻が不細工なやつなんでしょ・・・・?

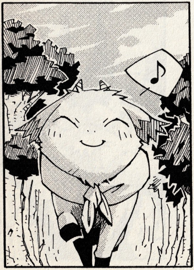

ハハハ
そんなこと
あなたこそ
いいんですか？
私のような
こんなヤギと
付き合って
……
……だから
秘密の友達
なんじゃ
ないっすか



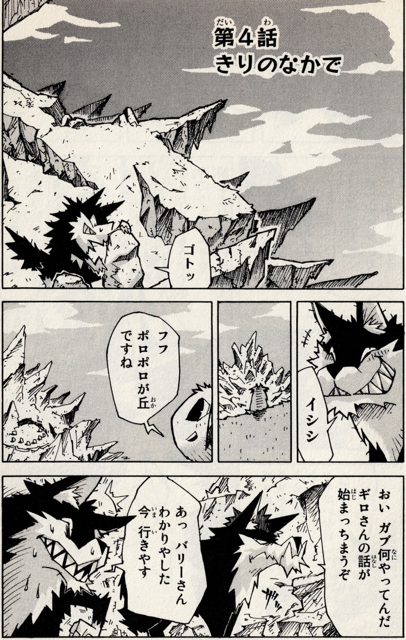
もう 戻らなくちゃ いけないっすね・・・
また会えますって
そうっすね
何でメイをおいて逃げてきちゃったのよ!
そそ・・そんなこと言ったっていきなりオオカミだぞ!? 誰だって逃げるだろ!



メイがオオカミに食われてたらどうすんのよ!!
は・・はヒィ!
あっメイ!
えっ!?
よかった・・・・
食われてなかった・・・・
メイーーッ!
雲のきれまから顔を出した夕日が〝秘密の友達〟を見送っていた



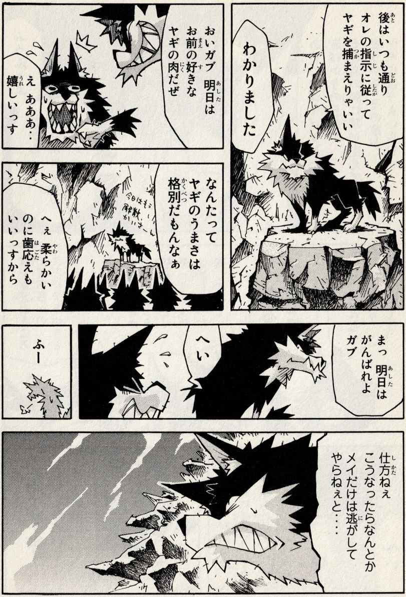



第4話
きりのなかで
ゴトッ
イシシ
フフ ポロポロが丘ですね
おい ガブ何やってんだ ギロさんの話が始まっちまうぞ
あっ バリーさん わかりやした 今行きやす

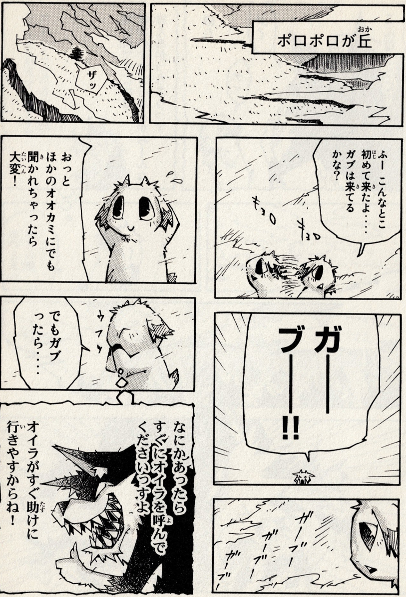


チラ
♪
これからの狩りで失敗は許されねぇ
なんたってもうすぐ冬 今のうちにエサを捕まえねぇといけねぇ
そこで明日はポロポロが丘でヤギ狩りを行う
げっ!!
ポロポロが丘? ギロさん あそこはあんまりヤギがいないんじゃ・・・・


ふっふっふ
だから ポロポロが丘を 狙うのよ
あそこはゴツゴツした 岩ばかりの丘だが その岩の間に草が生えている どうやら その草が ヤギにはうまいらしい
オレが見たところ 必ず何匹かの ヤギがチラホラと やってくる
それもまさか こんなところを 狙われるとは 思ってねぇから 油断しきった 顔してな！
なるほど!!
で どんな 作戦で？
……
バリー お前は追う役だ そっと近づいて 取り囲め
へい
次にザク お前らは 反対側に先回りしろ 挟み撃ち作戦だ
へい



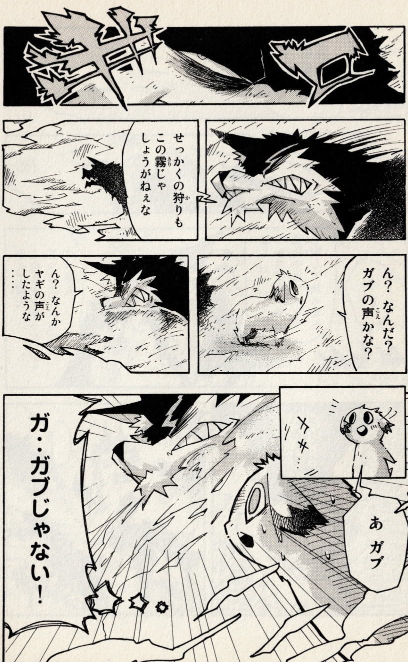
後はいつも通り オレの指示に従って ヤギを捕まえりゃいい
わかりました
おいガブ 明日は お前の好きな ヤギの肉だぜ
え あああ・・ 嬉しいっす
なんたって ヤギのうまさは 格別だもんなぁ
今日はもう解散 かいさーん
へぇ 柔らかい のに歯応えも いいっすから
まっ 明日は がんばれよ ガブ
へい
ふー
仕方ねぇ こうなったらなんとか メイだけは逃がして やらねぇと・・・


ポロポロが丘
ザッ
ふー こんなとこ初めて来たよ…… ガブは来てるかな？
キョロ
キョロ
おっと ほかのオオカミにでも聞かれちゃったら大変！
ガーブーー!!
でもガブったら……
ウフフ
なにかあったらすぐにオイラを呼んでくださいっすよ
オイラがすぐ助けに行きやすからね！
ガーブー
ガーブー
ガーブ



まこうみえてもオイラちょっとしたものでね
怖い顔ですごめばほかのオオカミなんかみーんな震えあがっちまうっす
ほら
グイ
プッ
こんなふうに!
あのときのガブの顔ったら・・・・
クフフ・・・


ガブ まだ来てないのかなぁ・・・
なんて霧だ これじゃヤギったって見つけにくいですぜ ギロさん
よし バラバラにわかれてさがせ 獲物を見つけたら合図して知らせろ
へい
・・・・
どこにいるんすよ メイ・・・・


せっかくの狩りも
この霧じゃ
しょうがねぇな
ん? なんだ?
ガブの声かな?
ん? なんか
ヤギの声が
したような
・・・
メメ…
あ ガブ
ガ・・ガブじゃない!


サッ
スッ…
チクショウ
風向きが悪くて
匂いがわかり
にくいが
間違いなく
ヤギが近くに
いるハズだ
ヒクヒク
ガブ…
助けてガブ…
あ ギロさん!
なにか見つけ
やしたか?


シッ 大きな声を出すんじゃねぇ 近くにヤギがいるんだ
オイラ見つけたんすよ すぐそこの岩んとこです うまそうに丸々肥ってるヤツっす！
丸々肥った…… よしオレが行く お前は下から回れ
へい
ス……
ニヤ
……
ホッ
ミ
メ……――
って
あ!?
！


!!
ジリ
キョロ
キョロ
ジリ…
がぱぁ
!!
今助けるっす!
ん?
ゴロン



ゴロン
ああわ・・あ
危ねぇ!!
ゴロン
ゴロン
ふ――・・・
・・・・
ん?
ハア
ハア


ガブ！
とりあえず隠れるっす！
あぁ 私もう ダメかと・・・・
とにかくここから逃げねぇと オイラの仲間がここで ヤギ狩りを・・・・
ヤギ狩り!?
とうとう始まったっす

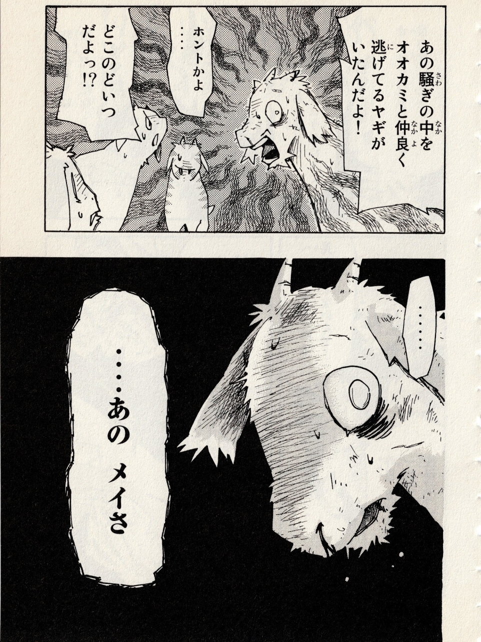

ここも危ないっす
こっちへ
あそこに
逃げるっす！


ここなら見つかんねえっす
フゥ――――
ホッ
よかったでやんす もしアンタがやられたら オイラどうしようかと・・・・
ありがとう ガブ
約束通り何度も助けてくれて
当たり前でやんす！
当たり前のオオカミはヤギを追いかけるほうですよ
そりゃそうっすね ハハハ
でもオイラ 今はヤギの肉じゃなくて・・・・
ヤギが好きなんす・・・・


ガブ‥‥
外は静かになりやした けど霧が濃くなってきてるでやんす
おかげで見つからなくて済みましたね
けど ホントはオイラ この丘を選んだのは 今夜が満月だから なんでやんす‥‥
満月
?
昔 よく月を見に来てたんでやんすよ ここから見える月は すごくキレイなんすよ
あーあ アンタに見せたかったなぁ その月を見てると嫌なことなんか みーんな忘れちまいやすよ
‥‥今夜は月は見れそうにないけど


私 ガブと話してると
嫌なことみーんな
忘れられるんですよ
ホッ ホントで
やんすか!?
オ オイラも
っす!!
また満月
見に来ましょう
オ オーケー
でやんす!!
小さな洞穴は
霧の中に深く沈んで
いった
まるで二匹の秘密を
覆い隠すように


おい 聞いたか
ザワ
聞いた 聞いた!
ザワ
オオカミが出たんだってよ!
ザワ
ポロポロが丘に出たらしいぜ
ザワ
第5話
どしゃぶりのひに
他の山のヤギたちと一緒だったんだけどオオカミの群れがいきなり‥‥
何匹くらいやられたんだ?
ヤツらも考えたなこっちが油断してるところを狙ったんだ
冬が近いからヤツらも必死さ
そんなことわかんないよ自分が逃げるだけで精一杯さ
そうそう!実は とんでもないもんを見ちまったんだよ!
とんでもないもんって 何だよ
ザワ ザワ ザワ

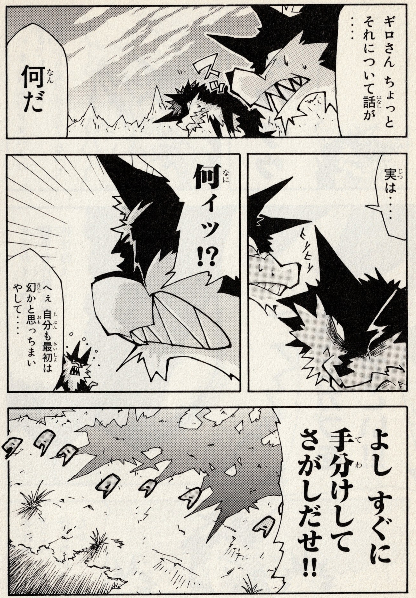


あの騒ぎの中をオオカミと仲良く逃げてるヤギがいたんだよ！
ホントかよ……
どこのどいつだよっ!?
……
…あの　メイさ


昨日の狩りは散々だったな・・・・
ヒュッ
ヒュッ
あの霧じゃしょうがねえよ
ヒュッ
せっかくのごちそうを目の前にして・・・・
・・・・・・
おい ガブはどこにいる
へい 実は夕べから見かけてないんで・・・・
昨日 ガブはお前と一緒にヤギを追う役目だったな!



へい それがあのドタバタの騒ぎでしたから途中から姿が見えなくなって・・・
ガゥウウゥ
オオカミの狩りで勝手な行動は御法度だ 許せねぇ・・・
すぐにガブを呼んでこい!!!
それがどこへ行きやがったか・・・



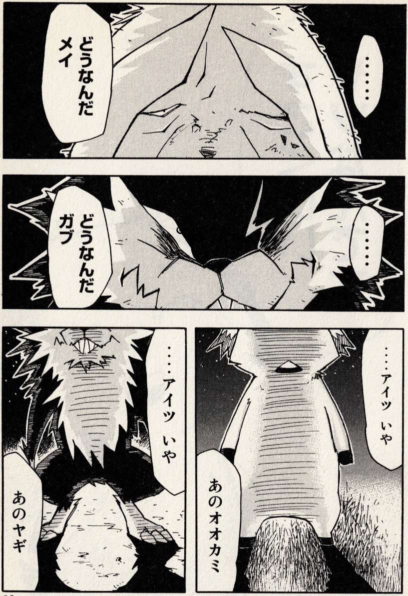
ギロさん ちょっと それについて話が・・・・
何だ
実は・・・・
何イッ!?
へぇ 自分も最初は幻かと思っちまいやして・・・・
よし すぐに手分けしてさがしだせ!!




・・・
メイを連れてきました
ご苦労
私が何か・・・・
お前・・・・
オオカミと
仲良くしているそうじゃな
・・・
ガブです
ご苦労
へえ
何か?
とぼけんな
お前 獲物が逃げるのを
手助けしたんだってな!!!

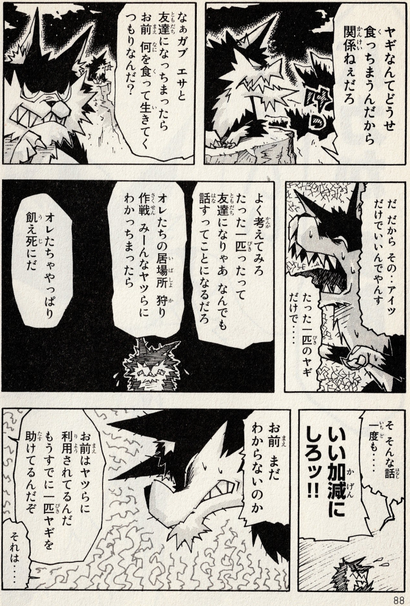

それも 仲間の ヤギが オオカミに 襲われている ときに‥‥
それも よりに よってヤギ狩りの 最中に！
ウソでしょ ねぇ メイ ウソよね！
お願い！ そんなのウソ だって言って!!
……


おおおぉ
おおぉお・・
そうか
わかった!
ソヨソヨ峠の あの
オオカミ
だな!!
オレたちはメイが
食われなくて良かった
と思ってたけど
友達って
あいつのこと
だったのか!!
あっ・・・・もしかして
お前 あのオオカミに
脅されてるんじゃ
ないか!?
だったら
ここで正直に言えよ!
みんなお前の仲間だぜ!!
オレだって本当の
友達じゃないか!!
・・・本当です

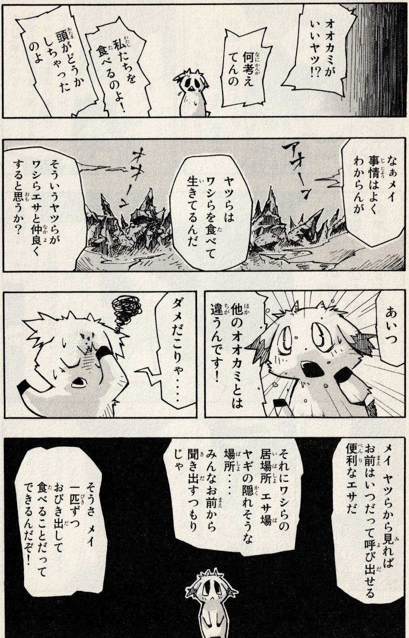

……
どうなんだ メイ
……
どうなんだ ガブ
…アイツ いや
あのオオカミ
…アイツ いや
あのヤギ

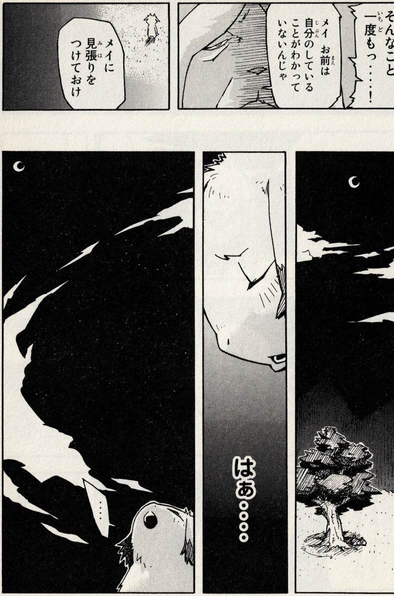

すごくいいヤツなんです


すごくいい
バカか　お前は


ヤギなんてどうせ食っちまうんだから関係ねぇだろ
なぁガブ エサと友達になっちまったらお前 何を食って生きてくつもりなんだ?
だ だから その…アイツだけでいいんでやんす
たった一匹のヤギだけで….
よく考えてみろ たった一匹たって友達になりゃあ なんでも話すってことになるだろ
オレたちの居場所 狩り作戦 みーんなヤツらにわかっちまったら
オレたちゃやっぱり飢え死にだ
そ そんな話一度も….
いい加減にしろッ!!
お前 まだわからないのか
お前はヤツらに利用されてるんだ もうすでに一匹ヤギを助けてるんだぞ
それは….


そのヤギだって自分の仲間を食い殺してるオレたちと本当の友達になると思ってんのか？
・・・・
へい
よし ガブの処分をどうするか決まるまで 谷底の洞窟にぶち込んどけ
最後に一つ
お前は〝生き延びる〟ってことがどんなに重要かまだわかっちゃいねぇ
お前のその甘さが命取りになるんだ 命がけってときほどな・・・・
それにしても頭のいいヤギもいたもんだねぇ 甘いこと言ってガブみてぇなオオカミをしっかりつかまえちゃってさ
そりゃガブだって友達になっちまえばなんでも言うがままよ
そうそう 便利で最高の用心棒！
ガブも鈍感だなぁ！


オオカミがいいヤツ!?
何考えてんの
私たちを食べるのよ!
頭がどうかしちゃったのよ
なぁメイ 事情はよくわからんが
アオーン
ヤツらはワシらを食べて生きてるんだ
オオーン
そういうヤツらがワシらエサと仲良くすると思うか?
あいつ
他のオオカミとは違うんです!
ダメだこりゃ‥‥
メイ ヤツらから見ればお前はいつだって呼び出せる便利なエサだ
それにワシらの居場所 エサ場 ヤギの隠れそうな場所‥‥ みんなお前から聞き出すつもりじゃ
そうさ メイ 一匹ずつおびき出して食べることだってできるんだぞ!


そんなこと一度もっ・・・・！
メイ お前は自分のしていることがわかっていないんじゃ
メイに見張りをつけておけ
・・・・
はあ・・・・

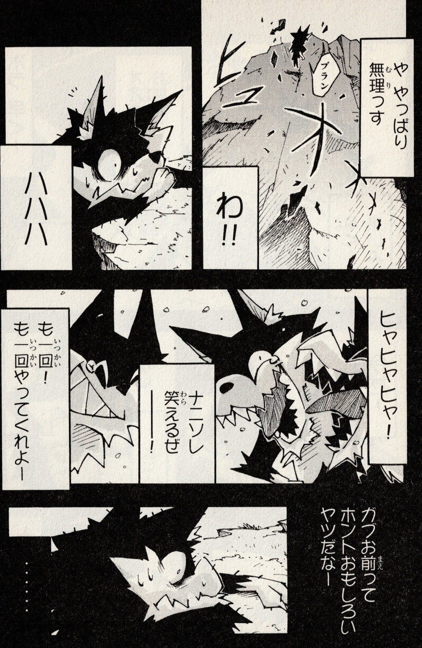

…みんなの言う通りだ
私はヤギでガブはオオカミ
今まで何匹もヤギを食い殺したことがあってもおかしくない
…でもだからってガブを好きな気持ちは変えられないよ……
メイ起きてるかい？
おばあちゃん……
寝てなんていられなくてね…お前に話しておきたいことがあって来たんだよ
何？
お前のお母さんのことだよ
お母さんの？
そうあの子はなによりもお前を愛していた
…なんとなく覚えてるよ
あの子は幼いお前を守るためにオオカミに殺されたんだよ
オオカミに!!
そうそのとき勇敢にもオオカミの片耳を食いちぎってやったんだよ

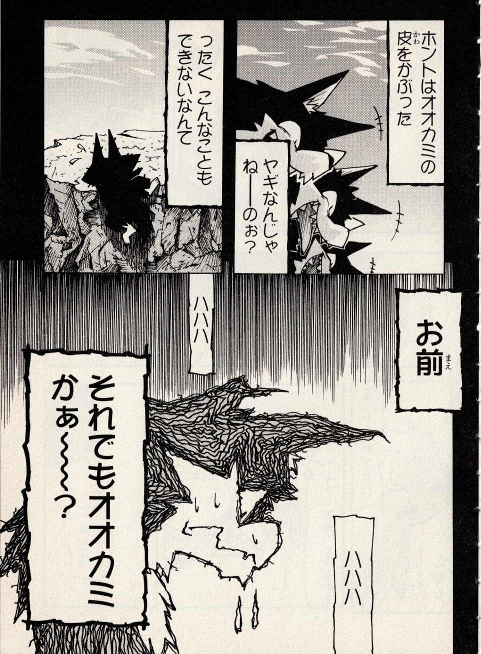


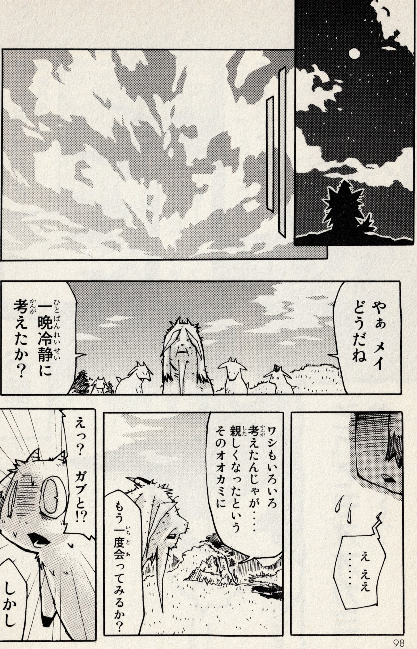
――でも最後にはオオカミに食われちまった・・・・
・・・・


メイ 友情だけは
大切にって言って
育ててきたが
それはオオカミ
なんかと仲良く
するために言った
んじゃないよ・・・
どうした
だらしないぞ ガブ!
・・・・
おーい 早く飛べー

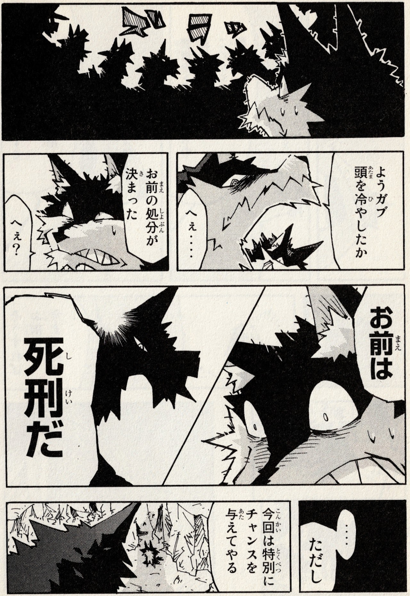

ホラ 早く！
オオカミだろ お前は!!
早く 来いよ！
ぱん
・・・よし！
ぱん
今だ！
飛べ!!
ちらっ
！


ややっぱり無理っす
ブラン
ヒュオォ
わ!!
ハハハ
ヒャヒャヒャ!
ナニソレ笑えるぜ――!
も一回!も一回やってくれよー
ガブお前ってホントおもしろいヤツだなー
……


ホントはオオカミの皮をかぶった
ヤギなんじゃねーーのぉ？
ったく こんなこともできないなんて
お前
ハハハ
それでもオオカミかぁ〜〜？
ハハハ


やぁ メイ
どうだね
一晩冷静に
考えたか？
ええ
……
ワシもいろいろ
考えたんじゃが……
親しくなったという
そのオオカミに
もう一度会ってみるか？
えっ？ ガブと!?
しかし


ヤツらがお前を利用するつもりなら 反対にこっちがヤツらを利用してやるのじゃ
機嫌をとってヤツらの居場所 群れの数 これからの予定を聞き出してくれ
そうすればお前は今まで通り・・・
おばあちゃん・・・・
・・・わかりました


ようガブ
頭を冷やしたか
へぇ‥‥
お前の処分が
決まった
へぇ?
お前は
死刑だ
‥‥
ただし
今回は特別に
チャンスを
与えてやる


お前が仲良くなった そのヤギにもう一度 会ってこい
メ メイと・・・？
お前はそこで優しそうな 顔をしてヤギのことを いろいろ聞き出してこい
お前 助かるんだぜ よかったな!!
後はお前がしっかり ヤツらの動きを聞き 出してくれば もう オレたちはエサに困ら ないってワケよ
いいかガブ もしまだ バカなこと考える ようなら今度は 容赦しねぇ
裏切り者はどこまでも 追いかけて処刑する それがオオカミの掟だ わかったな!!
・・・・


もももちろんわかったっす
オイラもう一度会ってみやす
ジィー
とんでもないことになってしまった・・・・
でも・・・そんなことホントにオイラにできるんでやんしょうか――
生き延びるために友達を裏切るなんて・・・

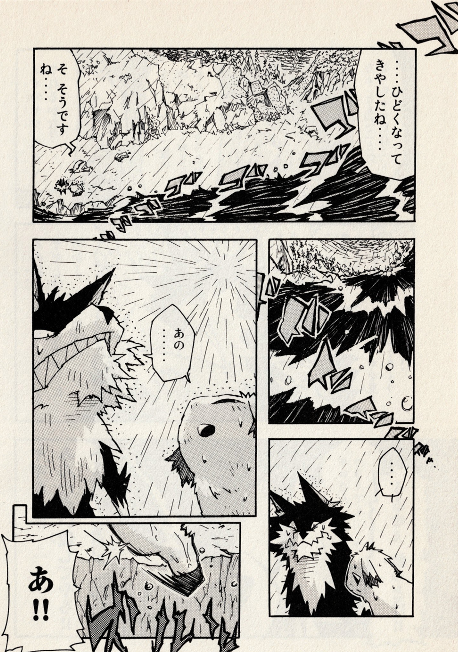

ややぁ遅くなっちゃって…
いや オイラも今…
ど どうします？今日は…
そ そうっすね じゃ この下の谷川まで…
そ そうしましょうか ハハハ…
なんだ？
オオカミとヤギが!?
何アレ

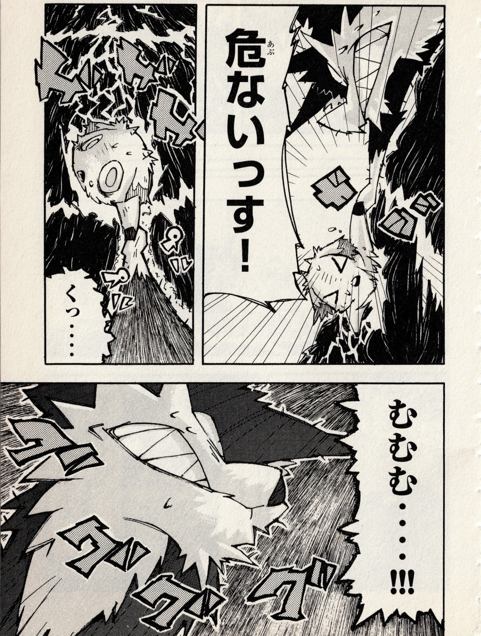


おい あの二匹 何なんだ?
さあ ?
だけど ヤギもオオカミも いっぱい集まって
二匹のようすを 見張ってるようだね
まぁ 何か あるんじゃない?
ポッ
ポッ



メイのヤツ うまくやれるかな?
うむ ワシら一族の命がかかっておるんじゃ がんばってもらわねば・・
あぁ とんだことになっちゃったね・・・
あの野郎 あんなうまそうなヤギと仲良くしてやがったのか! 許せねぇ!!
まあまあ ギロさん この作戦が成功すりゃいくらでも・・
オレはヤギを見るだけでイライラするんだ!!
ヤギなんかみんな食い殺してやる!!
ギロさん ヤギにウラミでも・・・?
うるせぇ 放っとけ!!

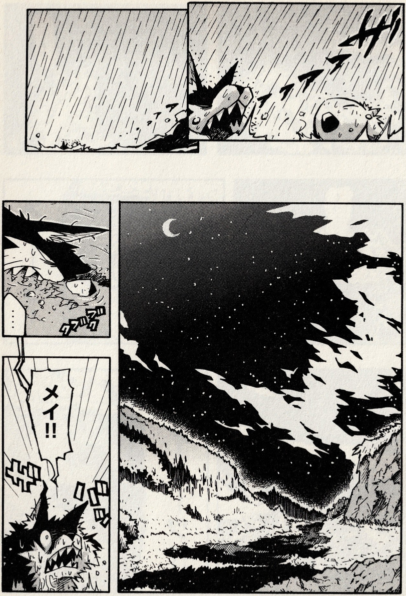

……ひどくなって
きやしたね……
そ そうです
ね……
……
あの
……
あ!!

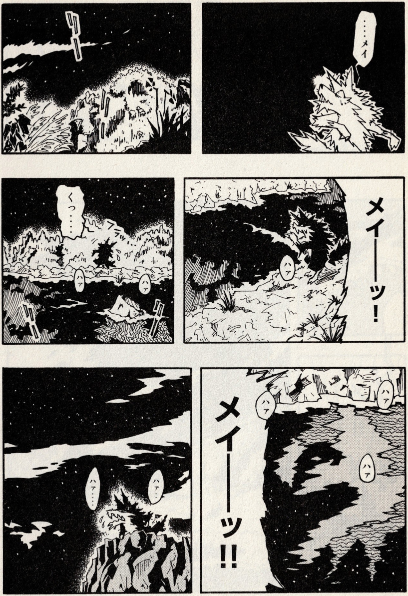

危ないっす！
くっ……
むむむ……!!!


はぁ
はぁ
実は謝らないといけないことがあるっす・・・・
何です？
メイにウソをついてヤギのことをいろいろ聞き出そうと・・・・
実は私も同じで でもガブを見たら そんな気になれなくて・・・・
オイラもっす・・・・
どうします？ 私たちもう〝秘密の友達〟じゃなくなっちゃいましたけど・・・・

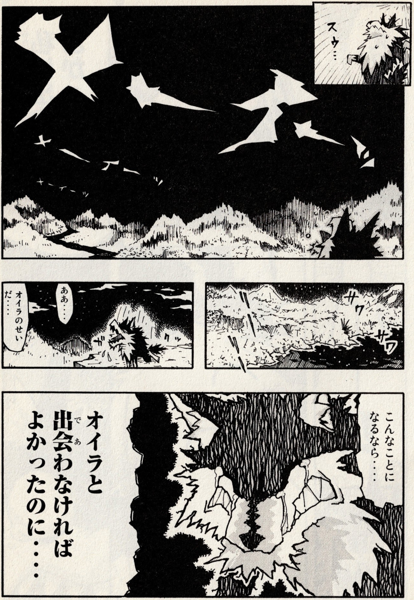

オイラがメイを食って終わりってのもあるっすよ?
ハハハ
行くか 帰るか・・・・
どうせなら行けるところまで行ってみましょうよ
そうっすね・・・・また生きて会いやしょう
・・・・ええ

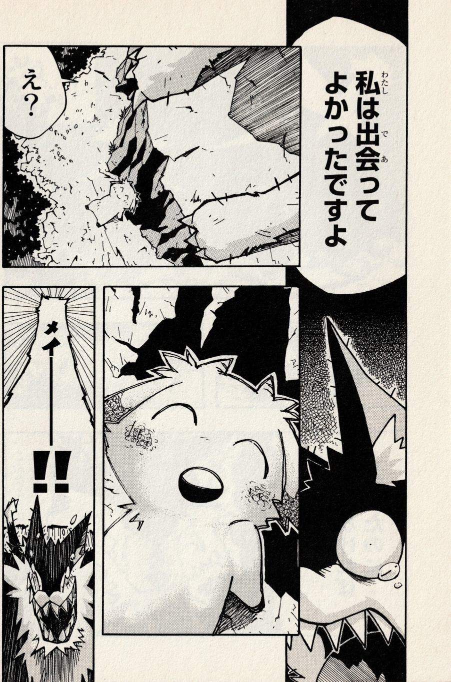

…せーのっ!!
ドッ
!!


ァァァァァァァザリ
ブクブク
ブクブク
・・・・
メイ!!
ギョロッ



……メイ
メイーーッ！
ハァ
くっ……
フラッ…
ハァ
ハァ
メイーーッ!!
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ…
ハァ…

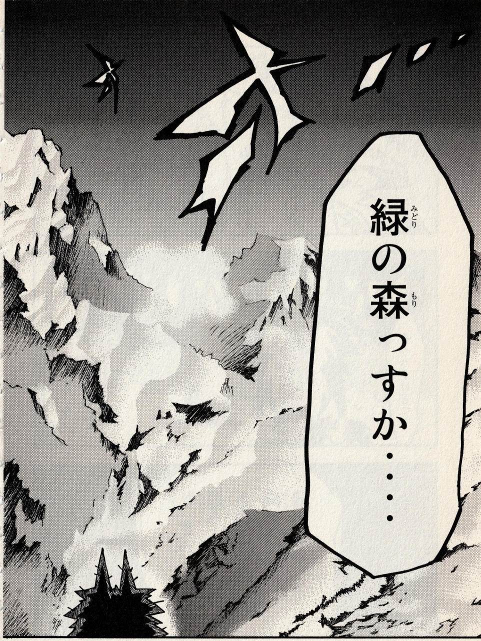

スゥ…
サワ
サワ
あぁ……
オイラのせいだ……
ガクッ
こんなことになるなら……
オイラと出会わなければよかったのに……


私は出会ってよかったですよ
え?
メイ――!!

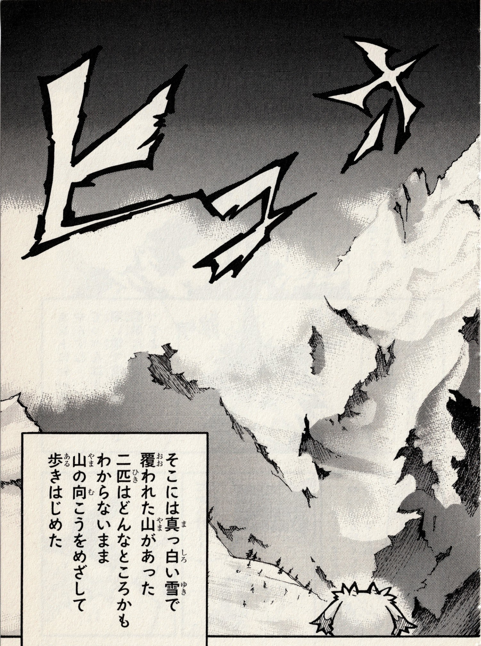

無事だったでやんすか！
はい
あぁ　オイラもう会えないかと‥‥
ええ
本当によかった‥‥


また こうして会えるなんて夢みたいですよ
ハハハ ゆうべはもうダメかと思いやしたよ
ガブの声が聞こえたときはもう嬉しくて‥‥
しっ!
ねぇ あの二匹 ゆうべのヤギとオオカミじゃない?
あー
ザワ ザワ ザワ ザワ
よく生きてたもんだ
‥‥
この噂はすぐにオオカミたちに伝わるっす
ですね‥‥
どうしやす? これから‥‥
あ! あれなんかどうです?


あの山の向こうにでも行ってみますか！
え!? あ あの山の向こうには誰も行ったことがないっすよ!?
だから行くんですよ
私たち もう戻れないし
そうっすけど‥‥
私 きっとあると思うんです あの山の向こうにも緑の森が‥‥



ズガ
緑の森っすか・・・


ヒュオ
そこには真っ白い雪で
覆われた山があった
二匹はどんなところかも
わからないまま
山の向こうをめざして
歩きはじめた

第6話 ふぶきのあした(1)



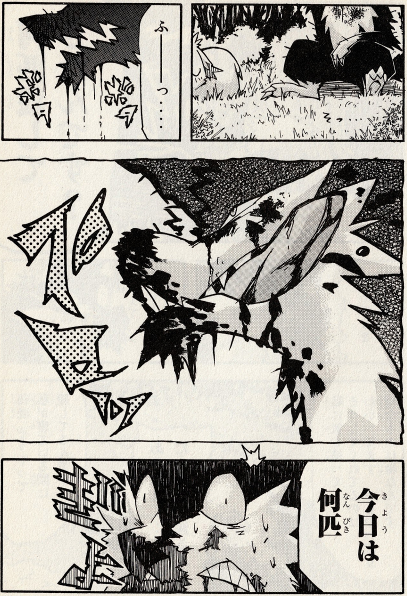

ザザ
ザザ
ギッ
ギッ
ザッ
おい 二手にわかれて
さがすぞ バリーたちは北
オレたちは東だ
ヘイ
ったく ガブのヤツ 甘くして
ヤギなんかをかばいやがって
やったのが間違いだったぜ
許せねぇ・・・
絶対見つけ出してやる



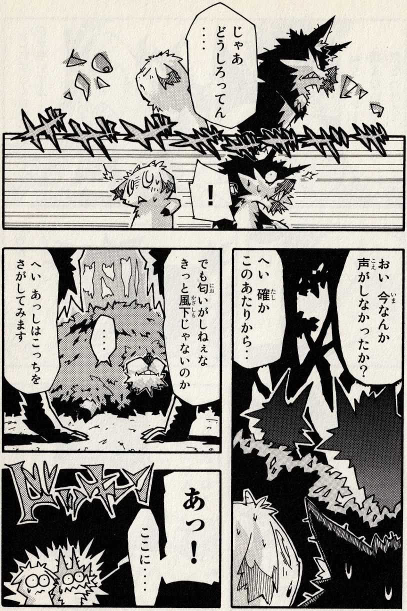
ふふふ・・・・
何がおかしいんでやんす?
だって私たち毎日一緒にいられるじゃないですか
ああ 今まではいつも群れに帰らないとって思ってやしたからね
そう!だから今が楽しくて

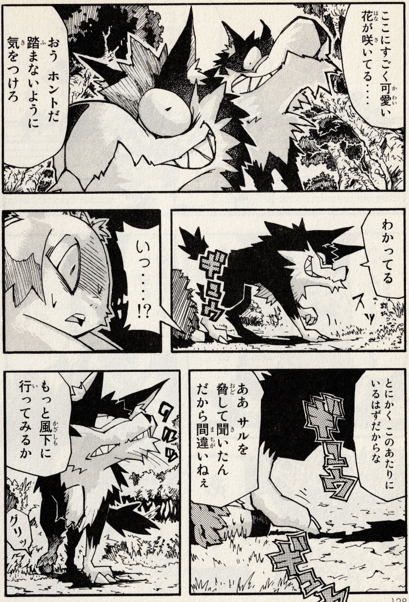

クンクン
この匂いは確かに
ガブとヤギの匂いだ
まだ近くにいるのかも
しれねぇ
へい
ついさっきまでここに
いたみたいですぜ
ヤギの毛も落ちてる
よし このへんを
くまなくさがせ
へい




ふーーっ・・・・
そっ・・・
今日は何匹

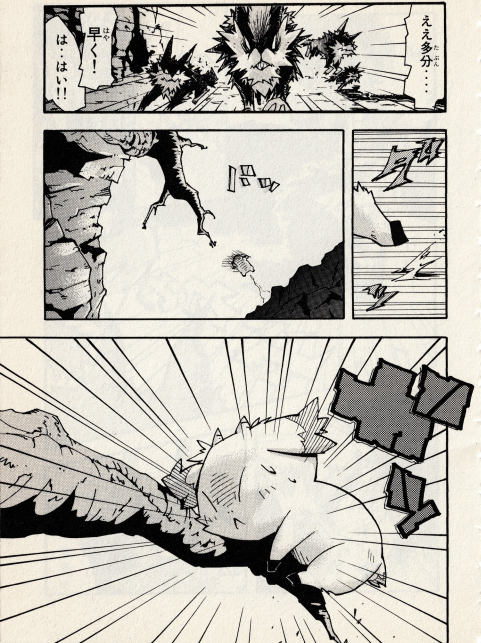

何匹殺してきたんです？
・・・・
野ネズミを二・三匹・・・・
毎晩 そうやって私が寝ている間に殺してるんですよね
あのねぇ・・・・オイラだって腹は減るんだ
私に気を遣って
そうしてくれてるのは
わかってます でもやっぱり
嫌なものは嫌なんです


じゃあ どうしろってん・・・・
ギャギャギャギャギャ
!
おい 今なんか声がしなかったか?
へい 確か このあたりから・・
でも匂いがしねぇな きっと風下じゃないのか
へい あっしはこっちをさがしてみます
・・・・
ドッキン
あっ!
ここに・・・・


ここにすごく可愛い花が咲いてる・・・・
おう ホントだ 踏まないように 気をつけろ
わかってる
スッ
ギュウ
いっ・・・・！？
とにかく このあたりに いるはずだからな
ギュウ
ああ サルを 脅して聞いたん だから間違いねぇ
ギュウ
もっと風下に 行ってみるか
グリッ

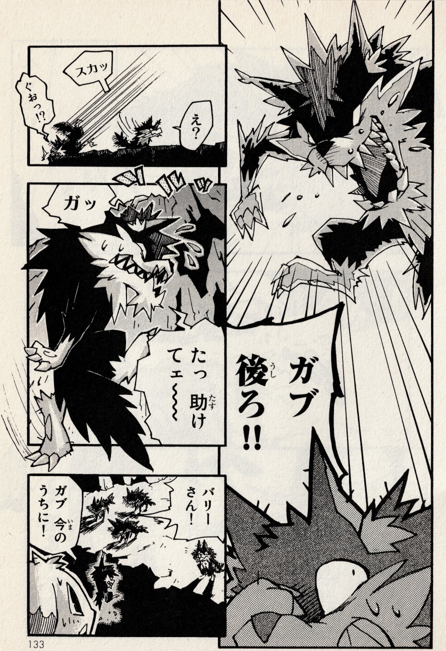

ずをっ!!
だ・・大丈夫でやんすか!?
!!
いたぞー!!
ガブだー!!
こっちだ
絶対に逃がすな!!


ハァ
ハァ
ザッ
!
ガラガラ
行き止まりだ!!
オイ あそこまで飛べやすか!?


ええ多分・・・・
早く！
は・・はい!!



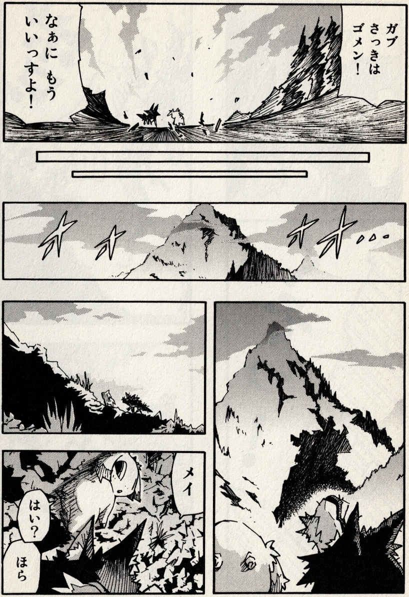
ガブも早く！
あッ!!
パラ
パラ
ちっ！
オラッ



え？
スカッ
ぐおっ!?
ガッ
たっ助けてェ〜〜〜
ガブ後ろ!!
バリーさん！
ガブ今のうちに！


へ…へい！
メリメリメリメリ
ハァ
くそ 追え！
追え！
追えっ
……おえ!?
バガッ

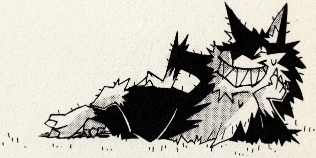

!!
タタタ…
……
くそっ!
ハア
ハア


ガブ
さっきは
ゴメン！
なぁに もう
いいっすよ！
オオ
オオ…
メイ
はい？
ほら

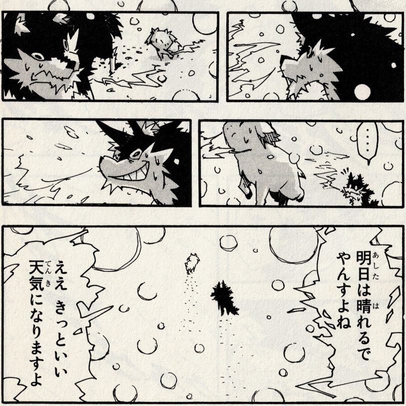

ずいぶん登りやしたね
ええ さすがに疲れました
あっ あそこはサワサワ山じゃないっすか？
バクバク谷も見えますよ
ハハハ ここから見ると あんなにちっちゃいんすね
私たち あそこで暮らしてたんですね
そう 毎日追いかけたり追いかけられたりみんな大変っすよね


やっぱりガブって変ですよ
オオカミなのにそんな言い方・・・・
そういうメイだって・・・・
私思ったんですけど・・・・
何を？
ガブと出会ってよかったって
・・・そんなもちろんオイラも・・・・
ねえ メイ 緑の森はきっと・・・
きっと ありますよ
そこに行けたら楽しいだろうなぁ・・・・
ええ
ガブと一緒なら・・・・
山のふもとにはオオカミの群れが見えていた・・・

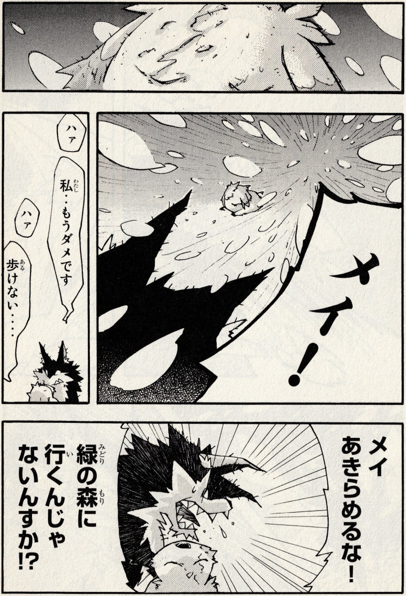




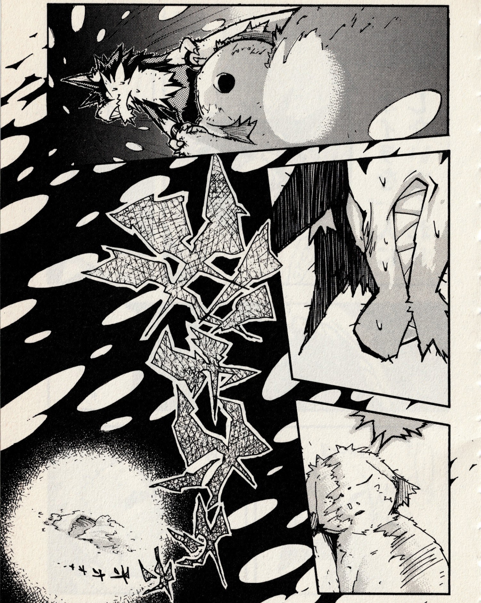
第7話
ふぶきのあした(2)




あと少しで‥‥越えられるよねガブ‥‥
緑の森まで‥‥がんばるっす！
ボッ
メ‥‥


メイー！
ハァ
私…もうダメです
ハァ
歩けない……
メイ
あきらめるな！
緑の森に
行くんじゃ
ないんすか!?



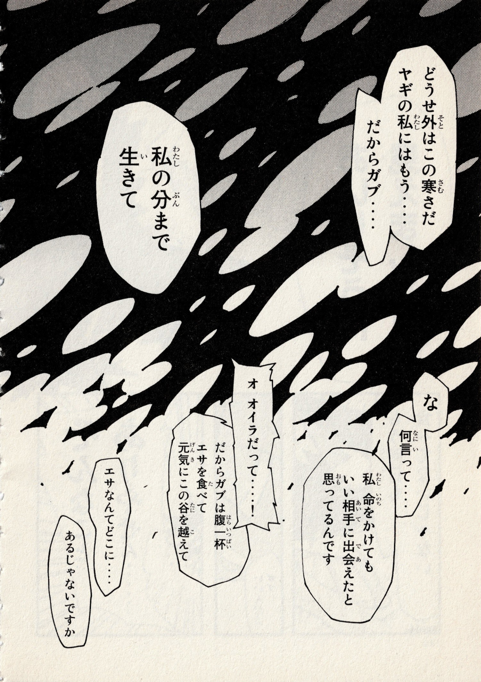

ホォォォ…


メイ
メイ！
がんばってくれ
お願いだ！
オイラを一人にしないでくれ!!
スリスリ
スリスリ
メイ!!
……

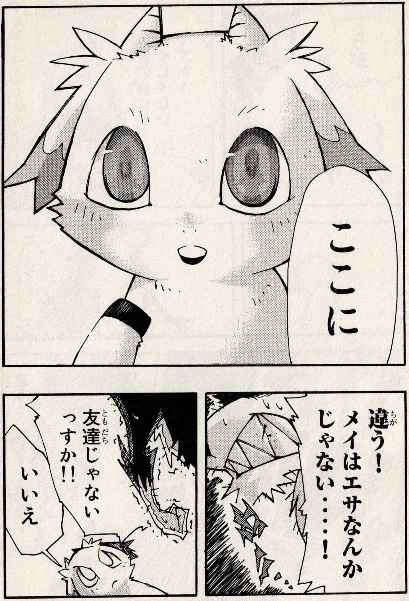

うん
うん
そうっすよ
オイラはちゃんと
そばにいるっす・・・・
・・・
・・・
ピョウウウ
やみそうに
ないですね・・・・
そうっす
・・・ね
腹(はら)が減って
オイラ
もう・・・・


あ・・・・
・・・うまそ・・・・・・
ハァッ・・・・・
ハァッ・・・・・
ぷるぷる
ビクッ
今


今 私が
おいしそうに見えました？
そんなこと ありやせん……
いいんだよ ガブ
もう何日も 食べてないじゃない

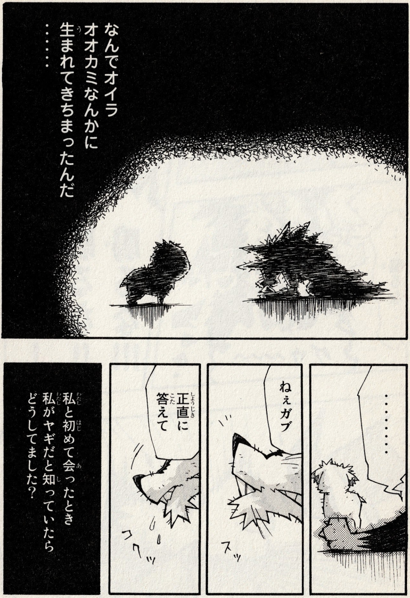


どうせ外はこの寒さだ
ヤギの私にはもう……
だからガブ……
私の分まで生きて
な
何言って……
私 命をかけても いい相手に出会えたと 思ってるんです
オ オイラだって……！
だからガブは腹一杯 エサを食べて 元気にこの谷を越えて
エサなんてどこに……
あるじゃないですか


ここに
違う！
メイはエサなんかじゃない・・・・！
友達じゃないっすか!!
いいえ


あなたにとって私は
友達の前にエサじゃないですか！
ちが
グウ〜〜
う・・・・
ね？
違う！違う！違う！
グギュ〜…
鳴るな！鳴るな！鳴るな！

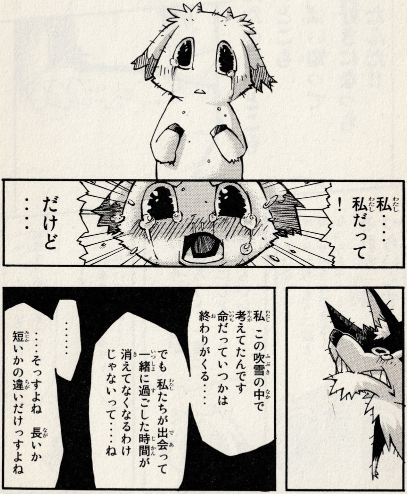

鳴るな！
鳴るな!!
鳴るな!!!
鳴るなァ
グウ～
グウ～～～
……鳴るな……
グウ～～～
鳴るなよ……
チクショウ……!!


なんでオイラ
オオカミなんかに
生まれてきちまったんだ
・・・・・
・・・・・・・・
ねぇガブ
スッ
正直に答えて
コクッ
私と初めて会ったとき
私がヤギだと知っていたら
どうしてました?


食ってやした・・・・!!!


そう
それでいい……
そのときのつもりになれば……ね?
なれる……
うん……
……
もう あのときとは違うんすよ!
なれるワケないっすよ!!
!
オイラたち知り合っちまったんだ!
もう他人じゃないんっすよ
!!


そんな悲しいこと言わないでほしいっす・・・・
ガブ・・・・
あんたの良いとこも悪いとこもいっぱい知ってて全部好きになっちまったんだ!!
へへ・・・オイラなにより友情を大事にするっすよ・・・・
いまさら食えるワケないっすよ・・・・
別にもう どっちが生き残ろうと一緒に飢え死にしようとどうでもいい!
どっちになってもオイラたち もう二度とおしゃべりもできなくなっちまう・・・・
それが一番つらいんすよ!!


私……
私だって
！
だけど……
私 この吹雪の中で考えてたんです 命だっていつかは終わりがくる……
でも 私たちが出会って一緒に過ごした時間が消えてなくなるわけじゃないって……ね
……
……そっすよね 長いか短いかの違いだけっすよね

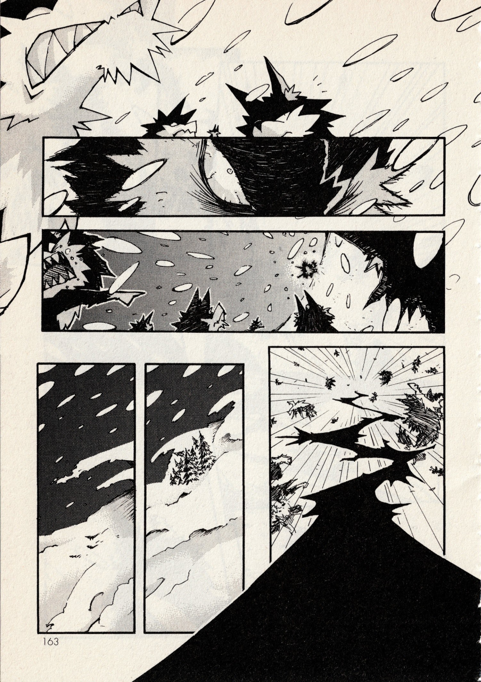

……わかりやした そこまで言うなら やってみやしょう
そうだ 初めて出会ったことにしてオイラが外からやって来てガブッといくのは？
きまり
じゃ ガブ
元気でね……
ああ……
サヨナラ メイ……
ヒュオオオオ…
バフッ
パラ パラ
へっ いまさらメイを食えるわけないっすよ


あーあ
どっかに草の一本でも生えてないかなぁ
少しでも食べれば
メイはきっと
元気に・・・・
・・・
なるっす――!!
パラ
パラ



ほかにもあるはずだ!!
バババッ
ふ――……
この一本だけでもメイに……
ん?
ジッ
あっ!!
あいつらこんなとこまで……

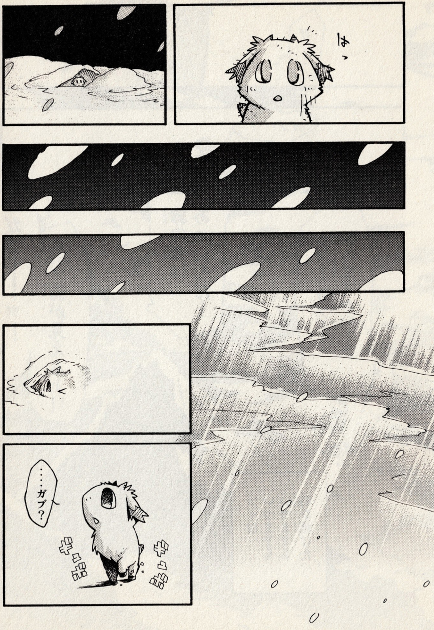

……ふっ
命をかけてもいい友達か……







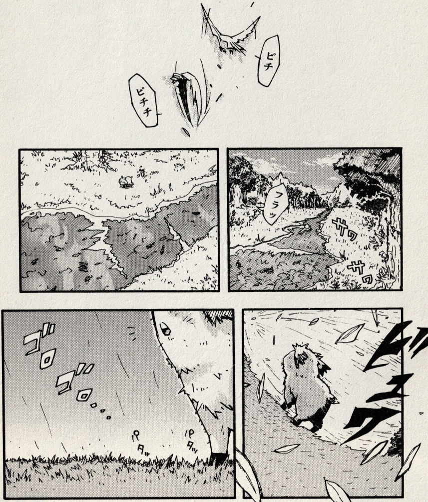



はっ
……ガブ？
ギュギュ
ギュギュ

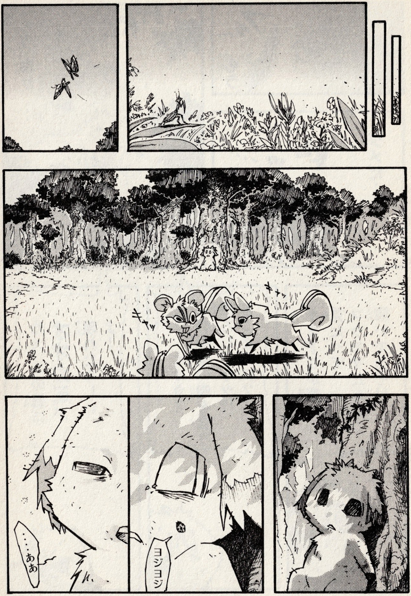


ガ・・・・
ガブ・・・・
ガブーーッ！
森だ 森が見えるよ!!
緑の森はあったんだ！
ガブ！ ガブー！
早く出ておいでよ
ガーブー・・・・
メイは
いつまでも
いつまでも
叫び続けた

最終話（さいしゅうわ）
まんげつのよるに




雷だ・・・
あの音が鳴るたびに
いつも一緒に
震えたね・・・


キャッ
キャッ
ヨジヨジ
……ああ



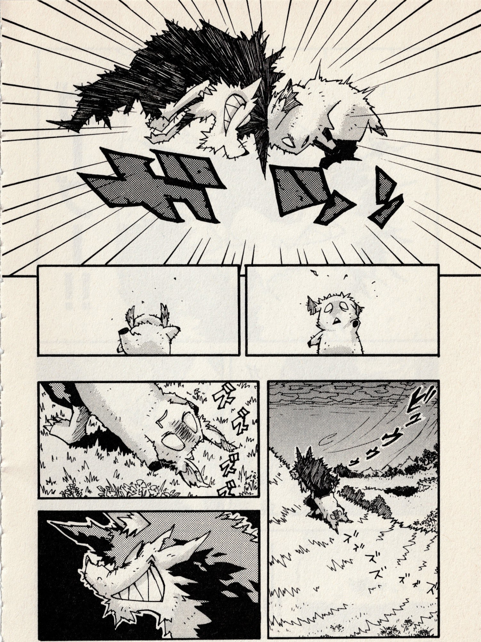
もう 春か‥‥
フッ…
もう
ダメだ‥‥
ドッ…
ねぇ この森に オオカミが 現れたらしい よ!
え? オオカミ あの動物の肉を食う 恐ろしいヤツ!? ど‥どこに?
キミドリが原で 見たって コウモリたちが 騒いでたぞ!!

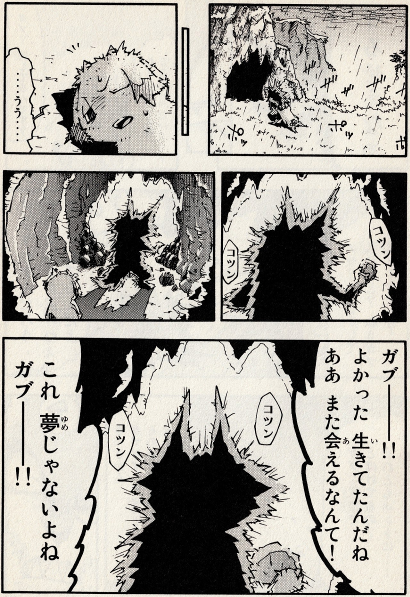


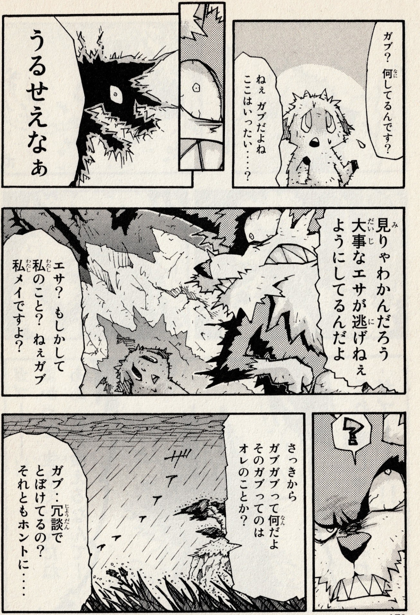
ガブだ・・・
きっと
ガブだ!
ガブだ!
ガブが生きてたんだ!!

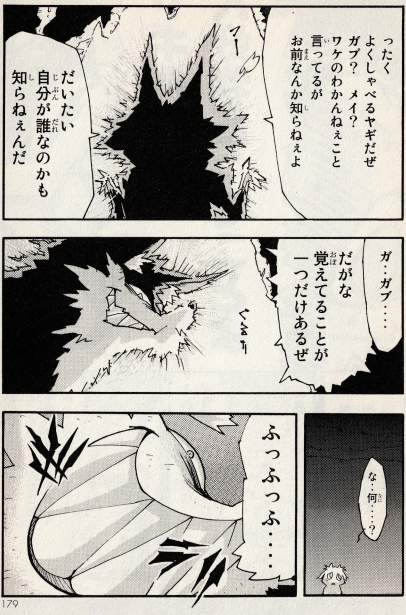

ばっ
ばっ
!
ザザッ
ビュオォ
ヌッ…
…ああ
やっぱりガブだ!
ガブが来たんだ!!


ガーブー!!
ガブー!!
ガブー!!
タタタタタタタ
ガブーーー!!!




……うう……
ポツ
ポツ
ザ
ザ
ザ
ザ
コツン
コツン
コツン
コツン
ガブ――!!
よかった 生きてたんだね
ああ また会えるなんて!
これ 夢じゃないよね
ガブ――!!


ガブ？ 何してるんです？
ねぇ ガブだよね ここはいったい・・・・？
うるせえなぁ
見りゃわかんだろう 大事なエサが逃げねぇようにしてるんだよ
エサ？ もしかして 私のこと？ ねぇガブ 私メイですよ？
さっきから ガブガブって何だよ そのガブってのは オレのことか？
ガブ…冗談で とぼけてるの？ それともホントに・・・・

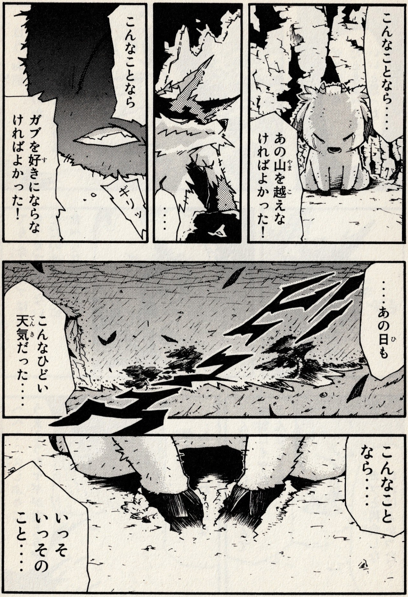

ったく
よくしゃべるヤギだぜ
ガブ？　メイ？
ワケのわかんねぇこと
言ってるが
お前なんか知らねぇよ
フー
だいたい
自分が誰なのかも
知らねぇんだ
ガ・ガブ・・・・
だがな
覚えてることが
一つだけあるぜ
ぐるり
な・・何・・・・？
ふっふっふ・・・・


ヤギの肉が
大好物だってことよ
本当ならすぐ食っちまう
ところだが　こんなご馳走だ
今夜の満月でも見ながら
ゆっくり食ってやるよ
それに嵐の後は特に
天気がいいっていうしな
ああ‥‥
ズズズ‥‥
あの雪崩のショックで
何もかも忘れて
しまったんだ‥‥


・・・ねぇ ガブ
思い出して
私たち友達
だったんですよ
ふざけんじゃねぇ
オレはオオカミでお前は
オレのエサのヤギなんだよ!
馬鹿なこと言ってんじゃねぇ
ザァァァァ
でも本当なんです!
一緒にピクニックにも行ったし
ここにだって一緒に来るはず
だったんです!!
ねぇ ガブ
私の顔をよく見て
ほら 私たち秘密の友達
だったじゃないですか
ねぇ ガブ・・・・


うるせぇ！
黙ってろ!!
助かりたいからって
ワケのわかんねぇ話ばかり
するんじゃねぇ
夜までもう
一言もしゃべるんじゃねぇ
わかったな!!
……
……ああ
あんなに会いたかった
ガブがこんなに近くにいる
うっ……
うっ……
顔も身体も声も
みんなガブなのに


ほう お前
泣いているのか
まあ もうすぐ食われちまうんだから
無理もないか
ガブになら たとえ食べられても いいと思った‥‥
でも 今のガブは もうガブじゃない!
ただのオオカミに 食べられるなんてイヤだ!
へへ‥‥久しぶりに うまそうなヤギが食えるぜ
早く嵐が おさまらねぇかな
こんなふうに死ぬなんて 絶対にイヤだ こんなことなら‥‥
ガブと再会しなければよかった‥‥

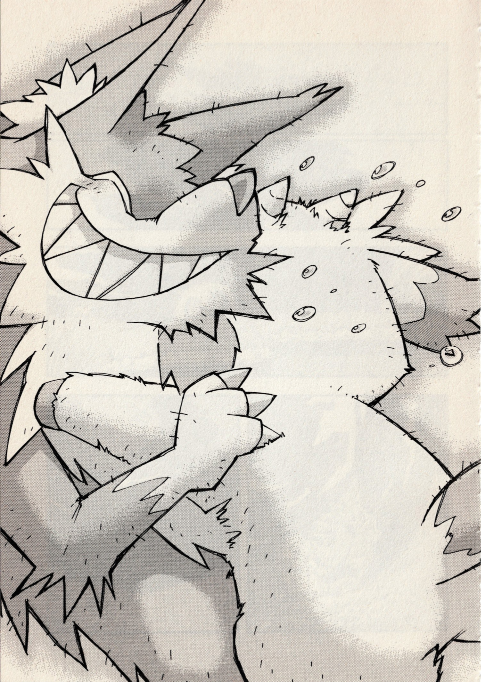

こんなことなら・・・・
あの山を越えなければよかった!
・・・・
こんなことなら
ギリッ
ガブを好きにならなければよかった!
・・・・あの日も
こんなひどい天気だった・・・・
こんなことなら・・・・
いっそいっそのこと・・・・


あの嵐の夜に
出会わなければよかった!!

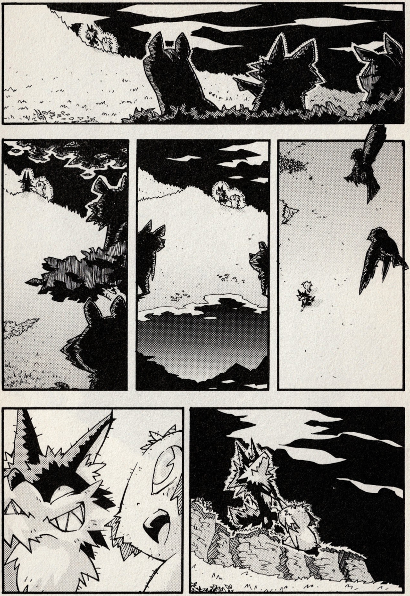

……え？
今なんて言った？
え？
だから嵐の夜に出会わな……
嵐の夜に？
嵐の夜に……
あらしのよるに……


あらしの
よるに
あらしの・・・
よるに
ここに
じゃあ 念のためにオイラが
「嵐の夜に出会った者でやんす」
って言いやすよ
ハア
だけど
・・・
なんか 私たちって
ホントによく
似てると
思いません？


・・・メイ
こんなところで何してるんでやんす？
ずっと
あなたを待っていたんですよ












キレイ・・・・
サイコーでやんす・・・・
ねぇ ガブ
なんすか？
もう 私たち
ずっと ずっと 一緒だよね？


ずっと ずっと
ずーーっと一緒っす



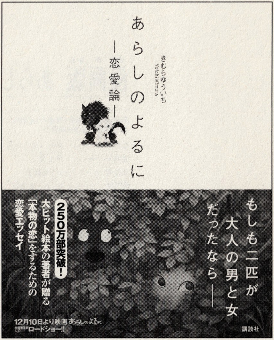
漫画版 あらしのよるに 終

原作:きむらゆういち

漫画:空十雲 そらとくも

<作画スタッフ>
増田 英二
福井 瞳
森脇 知弥
中島 多賀子
松本 俊輔
香川 孝祐
賀集 万里子
佐藤 佑介
網野 博一
大塚 真弓
古味 直志
松尾 拓郎
横田 直樹
重枝 厳男
吉川 周志
保田 恵美
永澤 由貴
長谷川 智子
岩田 真梨子
岸本 雅人
河田 彩
杉本 絵美

「あらしのよるに」の作者が贈る恋愛(スペシャル)エッセイ



あらしのよるに

―恋愛論―

きむらゆういち著

映画化もされる絵本「あらしのよるに」…実はこの物語には「うれしい」「楽しい」「悲しい」といった恋愛感情がとても多く散りばめられています。なら、オオカミのガブとヤギのメイをカップルとして考えれば、どんなことが見えてくるのでしょうか？　この本は原作者／きむらゆういち氏自身が手がけた「恋愛したい大人たち」のためのエッセイ集。きっと「あらしのよるに」の違う側面が見えるはず。

TOKYO 1週間　講談社　¥1050(税込)

漫画版　あらしのよるに

マガジンZKC0232

2005年12月16日第1刷発行（定価はカバーに表示してあります）
2006年2月10日第3刷発行

原作―――――――きむらゆういち
漫画―――――――空十雲
発行者――――――五十嵐隆夫
発行所――――――株式会社講談社
〒112-8001東京都文京区音羽2-12-21
電話――――――――編集部　東京（03）5395-3470
販売部　東京（03）5395-3608
装丁――――――――葛西恵
印刷所――――――株式会社廣済堂
本文製版所――――豊国印刷株式会社
製本所――――――株式会社若林製本工場

ISBN4-06-349232-X　Printed in Japan　N.D.C.726 199p 19cm

「漫画版 あらしのよるに」は、マガジンZ2006年1月号に掲載された第1話と、その続編を収録したものです。編集部では、この作品に対する皆様の御意見・御感想をお待ちしております。また、今後「マガジンZKC」にまとめてほしい作品がありましたら、編集部までお知らせください。なお、お送りいただいたお手紙、おハガキは、ご記入いただいた個人情報を含めて著者にお渡しすることがありますので、あらかじめご了解のうえ、お送りください。

〒112-8001東京都文京区音羽2丁目12番21号
「講談社マガジンZ」編集部　マガジンZKC係

講談社

9784063492323
1929979005245
雑誌 48352-32
ISBN4-06-349232-X
C9979 ¥524E (0)
講談社 定価：本体524円(税別)
マガジンZKC



二ひきは、あらしの よるに まっくらな こやで であい
あいてが だれだか わからないまま かたりあった。
そして とうとう ともだちに なってしまった。